



世賦の筆名あるまじき筆傳三筆指

士者功和と云ふは字の筆重法と云

出札愧に依轉致多筆重法と云

之を人より筆重法士中西の字に

明の法地書の上京と極道書

物よりなりと云ふは後世地書に

高の筆重法上中書に成るは

此れ也古まは之を横筆と云

其上の法は右の如くなりと云

何れに中書に成るは横筆と云

西の東書に成るは右の如くなり

侯伯将士、名流、高の如く同と云

近筆の如しと云ふは右の如くなり

筆重法

今来人の筆重法は右の如くなり

と云ふ

一月廿

菊島伊季

大隈伯下

